2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社伸和ホールディングス　　上場取引所　名 札
コード番号　　7118　　ＵＲＬ　https://shinwa-holdings.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）佐々木　稔之
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）大野　誠　　ＴＥＬ　011（624）7871
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	3,396	5.3	72	74.6	82	61.4	49	62.7
2026年３月期中間期	3,226	5.4	41	△61.0	51	△52.7	30	△60.5

（注）包括利益　2027年３月期中間期　49百万円（62.7%）　2026年３月期中間期　30百万円（△60.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	35.67	35.39
2026年３月期中間期	22.17	21.39

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	2,178	808	37.1
2026年３月期	2,185	809	37.0

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　808百万円　2026年３月期　809百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	37.00	37.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	38.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,808	1.6	256	27.8	255	18.8	172	26.0	124.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	1,384,500株	2026年３月期	1,378,200株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	－株	2026年３月期	－株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	1,382,355株	2026年３月期中間期	1,366,855株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（重要な後発事象） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に個人消費が底堅く推移したことに加え、企業の全般的な業況感の改善により設備投資も緩やかに増加するなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、不安定さが続く中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりによるエネルギー価格の高騰や物流への影響が長期化していることから、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループが運営する飲食事業、物販事業の店舗では、人流の活発化による食関連需要の高まり、宴会需要の増加及び新規メニューの積極的な投入により売上単価が上昇し、且つインバウンド需要の取り込みが順調に進んでおります。また、原価率及び人件費率の管理を適正に行いつつ、固定費の圧縮のための施策を継続的に講じるとともに、原材料価格の高騰を踏まえた自社工場における製造の効率化等、収益性の改善に向けた取り組みを推し進めてまいりました。

併せて、コーポレートスローガンである「食を通じてあふれる感動」に基づき、飲食事業及び物販事業における販売及び店舗展開の強化、人材の確保及び育成を引き続き積極的に進めてまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、当中間連結会計期間より、報告セグメント区分を変更しており、比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

＜飲食事業＞

飲食事業におきましては、「居酒屋」業態が新たに２店舗出店した結果、当中間連結会計期間末における店舗数は44店舗となりました。当中間連結会計期間においては、新規出店した店舗及び繁華街に位置する既存店舗を中心に効率的な集客が図られたこと及び新規の単品・宴会メニューの販促活動を積極的に行ったことにより一会計当たりのお客様単価が増加しました。また、原価及び人件費管理を適正に行ったことにより、飲食事業における売上高は2,132,672千円（前年同期比6.7％増）、セグメント利益は260,197千円（前年同期比24.6％増）となりました。

＜物販事業＞

物販事業におきましては、「惣菜販売」業態が新たに３店舗出店し、１店舗退店した結果、当中間連結会計期間末における店舗数は60店舗となりました。当中間連結会計期間においては、新規出店した店舗を中心に効率的な集客が図られたこと及び値引き販売の抑制により一会計当たりのお客様単価が増加しました。他方、原価及び人件費が高騰したことにより、物販事業における売上高は1,221,590千円（前年同期比5.1％増）、セグメント利益は97,926千円（前年同期比0.7％増）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高3,396,708千円（前年同期比5.3％増）、営業利益72,767千円（前年同期比74.6％増）、経常利益82,454千円（前年同期比61.4％増）、親会社株主に帰属する中間純利益49,311千円（前年同期比62.7％増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は2,178,785千円となり、前連結会計年度末に比べ6,382千円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が163,973千円、建物及び構築物が79,144千円増加した一方で、現金及び預金が210,479千円、売掛金が40,187千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は1,370,048千円となり、前連結会計年度末に比べ5,627千円減少いたしました。これは主に、未払金が42,187千円、１年内返済予定の長期借入金が22,216千円増加した一方で、短期借入金が50,000千円、買掛金が23,496千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は808,737千円となり、前連結会計年度末に比べ755千円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が49,311千円増加した一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が50,993千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ210,479千円減少し、766,233千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において営業活動により支出した資金は、14,670千円（前年同期は33,394千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益82,454千円、減価償却費40,604千円があった一方、棚卸資産の増加額151,342千円、仕入債務の減少額23,496千円、未払消費税等の減少額12,604千円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において投資活動により支出した資金は、123,832千円（前年同期は53,879千円の支出）となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入3,811千円があった一方、有形固定資産の取得による支出106,992千円、敷金及び保証金の差入による支出20,893千円等があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において財務活動により支出した資金は、71,976千円（前年同期は22,122千円の支出）となりました。これは、長期借入れによる収入100,000千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入926千円があった一方、長期借入金の返済による支出68,254千円、配当金の支払額50,993千円、短期借入金の純減額50,000千円等があったことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期（通期）の連結業績予想につきましては、2026年５月15日発表の公表値から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	976,712	766,233
売掛金	311,314	271,127
商品及び製品	123,279	287,253
原材料及び貯蔵品	23,209	10,577
その他	59,875	72,520
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	1,492,892	1,406,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	158,640	237,785
機械装置及び運搬具（純額）	96,761	85,973
工具、器具及び備品（純額）	63,588	71,231
土地	91,479	91,479
リース資産（純額）	5,906	2,609
建設仮勘定	2,354	－
有形固定資産合計	418,729	489,079
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
敷金及び保証金	193,538	207,359
繰延税金資産	63,562	52,612
その他	16,446	23,521
投資その他の資産合計	273,547	283,493
固定資産合計	692,276	772,572
資産合計	2,185,168	2,178,785

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	283,024	259,527
短期借入金	50,000	－
１年内返済予定の長期借入金	119,500	141,716
リース債務	5,553	2,918
未払金	232,419	274,607
未払費用	44,848	50,708
未払法人税等	9,701	21,960
賞与引当金	5,723	6,308
株主優待引当金	14,606	16,285
資産除去債務	555	－
その他	61,114	35,191
流動負債合計	827,047	809,222
固定負債		
長期借入金	458,924	468,454
リース債務	1,020	－
資産除去債務	88,683	92,371
固定負債合計	548,628	560,825
負債合計	1,375,675	1,370,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	52,879	53,342
資本剰余金	39,879	40,342
利益剰余金	716,734	715,052
株主資本合計	809,492	808,737
純資産合計	809,492	808,737
負債純資産合計	2,185,168	2,178,785

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,226,496	3,396,708
売上原価	1,255,363	1,275,677
売上総利益	1,971,133	2,121,031
販売費及び一般管理費	1,929,459	2,048,263
営業利益	41,674	72,767
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,033	1,640
受取保険金	9,555	9,230
協賛金収入	3,213	3,409
固定資産売却益	－	742
受取返戻金	1,200	－
その他	1,019	597
営業外収益合計	16,023	15,620
営業外費用		
支払利息	3,645	3,852
現金過不足	2,476	1,081
上場関連費用	－	1,000
その他	484	－
営業外費用合計	6,607	5,934
経常利益	51,089	82,454
税金等調整前中間純利益	51,089	82,454
法人税、住民税及び事業税	6,524	22,192
法人税等調整額	14,255	10,950
法人税等合計	20,780	33,142
中間純利益	30,309	49,311
親会社株主に帰属する中間純利益	30,309	49,311

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	30,309	49,311
中間包括利益	30,309	49,311
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	30,309	49,311

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	51,089	82,454
減価償却費	40,683	40,604
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,606	585
株主優待引当金の増減額（△は減少）	△8,652	1,678
受取利息及び受取配当金	△1,033	△1,640
支払利息	3,645	3,852
固定資産売却益	－	△742
売上債権の増減額（△は増加）	△386	40,187
棚卸資産の増減額（△は増加）	4,079	△151,342
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,750	△23,496
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	△9,639	36,956
未払消費税等の増減額（△は減少）	△20,739	△12,604
受取保険金	△9,555	△9,230
受取返戻金	△1,200	－
協賛金収入	△3,213	△3,409
上場関連費用	－	1,000
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△2,588	△21,317
その他の固定資産の増減額（△は増加）	△262	△75
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△6,624	△3,218
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△499	87
小計	31,747	△19,672
利息及び配当金の受取額	1,033	1,640
利息の支払額	△3,654	△3,918
保険金の受取額	9,555	9,230
受取返戻金の受取額	1,200	－
協賛金の受取額	39,088	7,981
法人税等の支払額	△45,577	△9,933
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,394	△14,670
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,206	△106,992
有形固定資産の売却による収入	－	742
敷金及び保証金の差入による支出	△2,591	△20,893
敷金及び保証金の回収による収入	－	3,811
資産除去債務の履行による支出	△500	△500
その他	417	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,879	△123,832
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△50,000	△50,000
長期借入れによる収入	150,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△62,594	△68,254
リース債務の返済による支出	△5,462	△3,656
配当金の支払額	△55,846	△50,993
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,781	926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,122	△71,976
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△42,607	△210,479
現金及び現金同等物の期首残高	969,756	976,712
現金及び現金同等物の中間期末残高	927,148	766,233

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他	計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	飲食事業	物販事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	1,998,603	1,162,496	3,161,099	65,396	3,226,496	－	3,226,496
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	1,998,603	1,162,496	3,161,099	65,396	3,226,496	－	3,226,496
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,998,603	1,162,496	3,161,099	65,396	3,226,496	－	3,226,496
セグメント利益	208,752	97,200	305,952	13,466	319,418	△277,744	41,674

（注）１．セグメント利益の調整額△277,744千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他	計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	飲食事業	物販事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	2,132,672	1,221,590	3,354,263	42,445	3,396,708	－	3,396,708
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	2,132,672	1,221,590	3,354,263	42,445	3,396,708	－	3,396,708
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	2,132,672	1,221,590	3,354,263	42,445	3,396,708	－	3,396,708
セグメント利益	260,197	97,926	358,123	8,721	366,845	△294,077	72,767

（注）１．セグメント利益の調整額△294,077千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、「卸売事業」を報告セグメントとして記載しておりましたが、当連結会計年度より、金額的重要性が低下したことに伴い、報告セグメントから除外し、「その他」の区分に含めております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（重要な後発事象）
該当事項はありません。